



応えてまいりました。

その結果、売上高については、懸念されていた消費増税後においても俊敏に回復をみせ、堅調に推移いたしましたが、当期中に12店舗の出店を予定しておりましたところ5店舗が次期以降に延期となったこともあり、当初計画を若干下回る見込みであります。

利益に関しましては、売上原価の改善やきめ細かいマージンミックスによって荒利益高が当初計画を上回ったことや、昨年来注力してまいりましたEDLC（エブリディローコスト）が結実し、店舗作業の標準化・単純化・本部集約化が強力に推し進められたことで人件費を中心に抑制することが出来ました。その結果、営業利益、経常利益、当期純利益とも計画を上回る見込みとなり、業績予想を修正することいたしました。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上